



新潮

洛星新聞編集局
京都市北区小松原南町
TEL④2334

第一期生
卒業記念号

船出

進んだ。ガムシャラに進んだだけ進んだ。そして彼から第二期生以下ソロソロ出ていった。ひつばれていた。

今日は「第一洛星丸」の日。『洛星港』をあとにしたく抜がる未知の世界へ出。どんな困難が、その行

ちかまえているかわからない。」
しかし「第一洛星丸」は、ガムシセラ
ラに前進するにちがいない。第三
と続く「洛星丸」の為に、さ
たまた航路を開拓してくれるにた
がいない。ここで「第一洛星丸」
の前途に幸あらん事を祈ろう。お
元氣で、ポン・ボヤージュ。



即ち彼の哲学や宗教に關係の無い事に就いて共に生活している人々に順応するために喜んで意見を交換します。しかも彼はこれを自發的に誇りを傷つけられることなしに進んでするのです。

とあれば詰問する時には非難をされると嘆かわしいのです。彼はも詰めないのであります。彼は体を治すためには患者に苦痛を与えることを躊躇しない外科医に似ています。このようなものが冷たい利己主義と生ぬるい方美人主義との間にある愛憎主義であります。利己主義はすべてのものを後退させる方美人主

く守り、自分が何を考え、何を信じているかを公言することを
はばかりません。しかもその時には他人の感情を傷つけぬよう
他人への優しい心づかいをします。それ故に謙遜な人は意見
や主義が無いと云うのは誤りであります。謙遜な人には二つの
一特長があります。

最も有利に見えるグループに加わり自分の安全さがおびやかされると見るや易々として自己の意見や態度を変える人であります。そのような人は一つの考え方——即ち我が身の安全ということがしか心にない人であります。

三、本当に懶遙な人とはこれら傲慢と屈従の両極端の中間にあらる人であります。彼は自己自身の意見と人生觀と宗教とを持つ

謙遜について
一、傲慢な人とは
自分自身の意見だけしか持たなくて
他の人の意見や忠告をきこうとしない
人であり自分の意見が間違っている
ことがある。しかし、それでも頑固にそ
れに固執する人であります。
二、屈従的な人は
は意見を持たない
いわば日和見主義者であり、大衆の
動きを見て自分に

日本社会の文化をもつた人であります。それは常に傲慢と屈従、利己主義と西方美主人主義の両極端の間ににある謙遜と愛の中道を歩むことができる人であります。

聞を通じて何回も主張してきました。卒業に当つて私はこの六年間を通じて何回も主張してきました。「人格」という題について、最後に一言申し上げたいと思います。

三木に實大な人は自分の門
判のためにではなく純粹にすべ
ての人を愛する人であります。
即ち彼は人々がよくなるように
語りでいるのです。しかも物質
的知的にいうよりはむしろ精
神的に一つまり彼は人々の人
格の向上を望んでいるのです。
それ故彼は、たとえ自分の愛す
る人に苦痛を与えるとしても必

す。しかも皮肉なことには、そのことがいつも人々の不快を招いているのです。彼は友達や彼の小さな評議会を失つことをおそれて誰に対しても一言も非難の言葉を発することができないのであります。それ故彼は自分の眼の前で悪事がなされてもそれを承認し自分の友情に値するしないに拘らず人々にへつたのであります。

—卒業式に際して—
ヨゼフ・ナドウ校長
あります。彼は自分の目的に適う人には、愛想がよいがそれの邪魔をする人たちには非常につらくなります。彼は友達を貰め敵を非難することしかりません。
二、八方美人主義の人は誰をでも愛するようになります。
よつて思われます。
彼はあるゆる手段を講じて評判を獲ら得友人を作ろうと試みます。彼の最大のおそれは人々の不快を招くことでありま

次に、彼は自分の根本的な主義を愛えることは出来ないとして、又それを愛する筈もありませんが、彼は自分の主義を他人に圧迫的に押しつけたりはしないのです。

第一に彼は本質的でないことを即ち彼の哲学や宗教に關係の無い事に就いて共に生活している人々に顧慮するために喜んで意見交換します。しかも彼はこれまでを自発的に誇りを傷つけられることなしに進んでするのです。

時には遅いなしと思ふ
くらでも見あきぬ道なり
は感謝しつつその道を歩くなり
は倒れる道歩くなり
今まで歩くなり
きている限り歩くなり
わくなるまで歩くなり
へら歩いても道は遠かに遠く
つかなら

道が美しくもあり
立派でもあるが
は自分に許された
一筋の道を歩くなり
の道を歩けば
ぬにゆかば彼は知らぬなり
れど歩くなり
の道のみ
に許された道なり

仲的に非常に弱いものであり最も道理に合った道に従うよりはむろ最も容易で物質的な安楽をもたらす道に従う傾向があるからであります。それ故助力、特に外部の精神的な助力が必要であり、そのような助力の源こそあります。神はお祈りさうは皆さんとの精神的な助力を与えになるのでしょうか。

